			平成20名	平成20年度事務事業評価表			作成日:平成20年7月22日	
評価対	対象年度: 平	<mark>成 19 年度</mark>					2-4-1-9	
事務事	事業名 地域 :	づくり支援事業				部等名	市長公室	
予算	会 計	科目コード	予算細目名	地域振興事業	地域振興事業		秘書広報課	
科目	一般	01-020108002	2 細々目名			係 等 名	広報広聴係	
T-1-25	基本目標	2 住民と行政の	協働による自立した	まちづくり				
政策 体系	施策	4 地域コミュニティ形成の推進						
N. Y.	基本事業名	1 地域コミュニ	ティ活動の促進					
実施内容を推っ		を推進している。 市では、これらの組織 	型域づくり振興団体は、地区の環境美化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動等注 注進している。 可では、これらの組織に対して活動費用の一部として交付金を交付し、地域振興の向上に 「本語では、これらの組織に対して活動費用の一部として交付金を交付し、地域振興の向上に 事業の種類 単維持管理事業 「 評価区分 □ 事前評価 ☑事					
重点事業区分		□重点事業 事業	<b>美実施期間</b>	継続 □単年度 □ ┆	明間限定(	年度	~ 年度)	
; th	1 報酬		円 11 消耗品費			負費	円	
決 算 額	7 賃金		円 12 役務費	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	円 18 備品購入費		円	
額	8 報償費 9 旅費	250	),000 円 13 委託料 円 14 使用料及	円 び手数料 円		補助及び交付金 計	250,000 円	
1 章	0 111124	状把握(Do)	门   14 使用杯及			āΙ	250,000 円	
1 . 事務事業の現状把握 (Do) (1)事務事業の目的と手段								
対象(誰を、何を)								
各地区地域づくり振興会								

## 手段(事業の具体的な内容、手順等) 活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標 各地区地域づくり振興会の活動を支援するために、交 指標 名称 交付団体数 付金を交付する。 (1) 式 指標 名称 式 (2) 意図(対象を、どのような状態にしたいのか) 成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標 地域自治(住民自治)を推進する。 名称 一地区あたりの活動回数 指標 地域の環境美化と地域振興を図る。 (1) 式 名称 指標 (2) 式

## 事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

「自分たちの住むところは、自分たちできれいにする」という地域の環境美化運動やスポーツ活動を通して、地域コミュニ ティの活性化に貢献している。

## (2)指標・総事業費の推移

	区分		単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)	
		活動指標(1)						5	11	
指		活動指標(2)								
標		成果指標(1)		回数				8.6	9	
		成果指標(2)								
投		財	国・県支出金	千円						
	事	源	地方債	千円						
	業	内	その他	千円						
	費	訳	一般財源	千円				250	550	
入		事業費計(A)		千円	0		0	250	550	
量	人	件 人件費平均額(年)		人				0.1	0.3	
	件			千円				8,373	8,373	
	費		人件費計 (B)	千円	0		0	837	2,512	
			事業費 (A + B)	千円	<u> </u>	0	0	1,087	3,062	

## (3)事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

この事業については、平成17年度から開始している。当初は5地区であったが、現在は6地区となり、20年度は本宮地区 の旧大字単位にも拡大している。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

職員間においては、公正性の観点から、地域づくり振興会等がすべての地区で発足できるような指導が必要との意見がある。

2 . 事務事	業の評価	(Check)
---------	------	---------

2 .	事務事業の評価 (Check)							
		[ 目的妥当性評価 ]						
	施策体系との整合性	市が行なう必要性	対象・意図の妥当性					
	☑有 【理由 】	☑有【理由 】	☑有【理由 】 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□					
	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ	□無【理由 , 改革改善案へ】					
	地域コミュニティ活性化の一助とな	 行政のサポートが必要。	地域づくり団体は、地域コミュニティ					
	<b>ే</b> .		の中心団体である。					
		[ 有効性評価 ]						
評	成果の向上余地	事業の中止・廃止による影響	類似事業との統廃合の可能性					
価	☑有 【理由 , 改革改善案へ】 □無 【理由 】	図有 【理由 】 □無 【理由 , 改革改善案へ	□有 【理由 , 改革改善案へ】 】 ☑無 【理由 】					
11111								
結		  地域づくり団体の活動は、町内会・行						
	継続性を持たせることで、自主的な地	政区の活動とともに、地域コミュニ	他にない。					
果	域発展が見込まれる。	ティの根幹をなすものである。						
		生評価 ]	[公平性評価]					
	事業費の削減余地	人件費の削減余地	受益者負担の適正化余地					
	□有 【理由 , 改革改善案へ】 ☑無 【理由 】	□有 【理由 , 改革改善案へ ☑無 【理由 】	】 ☑有 【理由 , 改革改善案へ】 ☐無 【理由 】					
	地域づくり振興会は、地域コミュニ ティの根幹である。	他の業務と兼務である。	市内統一した考え方が必要。					
	アイの依軒である。							
	評価結果の総括と今後の方向性	(a) A # WHT (	E 1015 10 F/B F					
(1)	1次評価者としての評価結果	, , ,	振り返り、反省点) タイプ アイス					
	=	直し余地がある 直し余地がある    公平性の観点か	いら、地域づくり振興会の市内全地区					
		直∪余地がある    公十倍の観点が 直∪余地がある    での発足が望ま						
		直し余地がある						
(3)	今後の事業の方向性		(5)改革・改善による期待成果					
	□廃止 □休止 □	■事業の統廃合 ■目的再設定	廃止・休止の場合は記入不要					
		■事業のやり方改善(効率性改善)	コスト					
4.13	☑ 事業のやり方改善(公平性改善)	現状維持(従来の通りで特に改革改善し						
(4)	改革改善案の概要		向上					
地域	づくり振興会の市内全地区での発足を	を目指すため、各地区の理解と協力:	を求め、果の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の					
る。	る。なお、20年度では11カ所の地区で振興会等が発足されている。							
(6)	(6)改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策							
不光	足地域の基盤となる団体の育成。							
4	事務事業の2次評価結果	ケ部価対象 フッケ部価対象						
	4 . 事務事業の2次評価結果 □ 2次評価対象 □ 2次評価対象外 □ (2)評価結果 □ (2)評価結果の根拠と理由 □ (2)評価結果の根拠と理由 □ (2)評価							
(1)			はな 全・工具					
		直し余地がある						
		直し余地がある						
		直し余地がある						
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)		(4)改革・改善による期待成果					
	□廃止 □休止 □目的再	設定 □事業の統廃合	廃止・休止の場合は記入不要					
	□事業のやり方改善(有効性改善)	コスト						
	□事業のやり方改善(公平性改善)	がい) 削減 維持 増加						
			向上 成 (4)					
			型 組持 低下					
			1731					
(5)	(5)その他、2次評価会議で指摘された事項							
(0)								